

令和5年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	令和5年4月26日(水)	時間	13時45分 ～14時15分	場所	市立伊丹病院 くすのき講堂
出席者	<p>委員： 吉村委員長(伊丹市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長) 森田副委員長(伊丹市歯科医師会会長)、千葉委員(伊丹市薬剤師会会長) 清水委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、國尾委員(伊丹市消防局警防室長)、松尾委員(伊丹市健康福祉部長)、藤本委員(宝塚市健康福祉部長)、阪上委員(川西市健康医療部長)、喜多委員(三田市総合政策部未来戦略室地域医療推進担当参事)、細田委員(学識経験者) 中田委員(伊丹市病院事業管理者)、筒井委員(市立伊丹病院病院長)、中村委員(市立伊丹病院地域医療連携室主任部長)、伊東委員(市立伊丹病院地域医療連携室部長)、竹原委員(市立伊丹病院看護部長)、田中委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>委任状： 栗田委員(宝塚市医師会会長)、杉原委員(尼崎市医師会会長)、織田委員(川西市医師会会長) オブザーバー(市立伊丹病院)： 森田(副院長)、濱口(副院長)、下山(診療部長)、鴻野(医療監)、三木(小児科主任部長)、太田(歯科口腔外科主任部長)、萩原(放射線診断科主任部長)、上田(薬剤科長)</p>				
議題内容	<p>■ 開会のごあいさつ 本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ただいまより令和5年度地域医療支援委員会を開催させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>■ 委員紹介 席次順に紹介 出席者過半数を超えているので本会は成立することを報告。 本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第2条ならびに第3条による公開となっており開催案内したが傍聴希望者は無。 ・本委員会は議事録作成のため録音している ・会議録の記載内容 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載無し 第18条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開</p> <p>■ 議事署名人の指名について(2名) ・吉村委員長より指名 森田委員、國尾委員に依頼したい。両者共に了承。</p> <p>■ 議事 1) 紹介患者に対する医療提供について 資料1-① 1-② 1-③ 1-④ 1-⑤ に従って説明 資料1-① 令和4年度 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率 地域医療支援病院紹介率は79.4% 逆紹介率は94.0%で承認要件イ) 紹介率65%以上、逆紹介率40%を充たしている。</p>				

資料 1-②

令和 4 年度 紹介患者紹介項目内訳

診察患者と検査を含めて 18,875 件で前年度と比較して大きな変化はない。

資料 1-③

令和 4 年度 科別紹介患者入院率

総入院患者数の 39.9%が紹介を受けた患者で前年度と比較して 1.1%増加している。

資料 1-④

令和 4 年度 患者住所地別紹介患者数

地域連携室経由の紹介患者は伊丹市内 74.9%で前年度とほぼ変化ない。

資料 1-⑤

令和 4 年度 地域医療連携室利用割合

地域医療連携室の利用割合は 87%で前年度と変化ない。

2) 救急医療の提供について

資料 2-①、資料 2-②に従って説明

資料 2-①

令和 4 年度 救急外来患者数調書

救急患者数は、7,268 件で前年度より 1,947 件減少している。入院化率は前年度より 6.9%増加している。

資料 2-②

令和 4 年度 救急搬送の応需困難状況

お断り率は 41.1%で前年度より 7.1%増加している。理由としては、救急搬送数が増加している中、新型コロナウイルス感染症対策による陰圧室が 2 室のため対応しきれずお断り件数が増加した。

- ・ 消防局でのコロナ禍における救急搬送についての影響は
 - 新型コロナウイルス感染症の感染状況の波により、思うように搬送できない時期もあったが感染状況が落ち着き、各関係機関の協力もあり見通しがよくなってきた。
- ・ 専門外等お断り件数の増加について
 - 院内クラスターも発生し人員的な不足等も原因の 1 つである。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 に従って説明

令和 4 年度 地域医療従事者対象研修会開催一覧

研修会はウェブ研修を含めて 21 件開催しており、昨年より増加、承認要件を充たしている。

- ・ コロナ禍以前の開催回数は
 - 平均 30 回開催していた。今年度からコロナ禍以前と同様に対面式でのイベントを企画、開催に向けて準備している。

4) 開放病床の運用実績について

資料 4 に従って説明

開放病床の利用診療科は眼科で平均利用率は 3.6%で問題なく運用できている。

- ・ 利用の診療科は
 - 眼科の白内障手術による利用がメインである。

5) その他

特になし

■ 閉会のごあいさつ

本日は、お忙しい中、市立伊丹病院地域医療支援委員会にご出席賜り誠にありがとうございました。

昨年度の、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の第6波・第7波・第8波では、院内で度々アウトブレイクが発生し救急患者の受け入れを一時的に中止するなど、地域の医療関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。このような状況下でも、皆様には継続的なご支援を頂き、お陰様で先ほどご報告申し上げましたように令和4年度の診療実績に於いても地域医療支援病院としての要件を満たすことが出来ました。委員の皆様には深く感謝申し上げます。

昨年度の医療提供状況を振り返りますと、初診患者数は一昨年度と比べわずかに減少いたしました。紹介患者数は皆様のご支援を頂き、新型コロナウイルス感染拡大前の平成30年度をわずかに上回るまで回復いたしました。しかし、昨年度の救急外来患者数に関しては、救急搬送患者数が一昨年度と同等であったのに対し、ウオークイン患者が著しく減少しました。救急外来経由の入院患者数は一昨年度と同等ですので、救急患者の受け入れの一時的な中止などの影響等を受け、軽症者の救急受診控えが起こったのではないかと考えています。

一昨年度には、救急外来の陰圧室を2室に増設する工事を行いましたが、感染拡大期には陰圧室の処理能力がボトルネックとなり、救急患者の受け入れがスムーズに行えない状況が多発しました。幸い、本年は今のところ、感染の波は落ち着いており、5月8日にはCOVID-19の感染法上の位置づけが5類へ移行される予定です。本年度は、COVID-19の感染動向を見守りながら、ポストコロナの時代に向かって、より積極的な患者の受け入れを行っていきたいと考えています。

次に、本年度の診療体制についてご報告致します。

本年度は、昨年標榜しました救急科に、県立西宮病院の救命救急センター長として勤務されていた鴻野先生を迎え、統合新病院における救命救急センターの取得を目指して、診療体制や人員の整備を開始していく予定です。

教育面に関しましては、お陰様で、本年度も医科10名の臨床研修医を迎えることが出来ました。大阪大学とのたすき掛けで2名の臨床研修医を受け入れますので、臨床研修医は1年目12名、2年目10名が在籍しております。2年目の研修では地域医療研修でお世話になる予定です。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。専門研修では、内科、整形外科、麻酔科が研修基幹病院として認定されており、現在、30名の専攻医が専門医の取得を目指して研鑽を積んでいます。

本日は誠にありがとうございました。統合新病院へ向けた工事などの影響でご不便をおかけすることもあるかと存じますが、今後とも市立伊丹病院へのご支援をお願い申し上げて閉会のご挨拶とさせていただきます。

■ 謝辞

本日はお忙しい中、また雨の中、委員の皆様には、「令和5年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会」にご参加頂きありがとうございました。特に、吉村史郎先生には、何時も委員長をお願いし、ご指導していただき感謝申し上げます。また、委員の皆様には本委員会だけではなく、常日ごろより当院をご支援していただいておりますことに対して篤くお礼申し上げます。

当院では公立学校共済組合近畿中央病院と合併して統合新病院の建設を目指しておりますが、ロシアのウクライナ侵略、急激な円安、それに伴う物価上昇にて予定入札価格が急上昇することとなり、2回の落札不調を経験しました。しかしながら、何とか2月15日には大成建設に落札していただきました。これまでの予定より1年遅れとなりますが、2026年度の竣工に向かって整備工事を進めてまいります。しかし、今後は同じ敷地内で解体・建築をして建替えを行うことから、騒音、振動、敷地の狭隘化、工事車両の移動等にて患者様にはご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

総務省は平成20年度より公立病院の改革を推しすすめており、令和4年には「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を出しています。これに対して、同じく吉

村史郎先生に座長をお願いして、対象期間を令和5年度から令和9年度として「市立伊丹病院経営強化プラン」を作成しています。恐らく、この7月には公表できると考えております。この中には統合新病院の竣工後の計画も含まれており、この5年間には大きな変化が生じると考えていますが、ご支援とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

臨床ではいつもチーム伊丹病院として、「安全で、質の高い医療を、効率よく」を基に、今後とも押し進めて参りますので、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

別紙のとおり「令和5年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者

令和5年5月23日

吉村 史郎



別紙のとおり「令和5年度第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人

令和5年5月23日

森田 健司



議事録署名人

令和5年5月29日

國尾 晃章

